

日本気管食道科学会より

## 『上縦隔気管切開孔造設手術 (AMT) の現状に関する後方視的調査』について

### ➤ 研究（調査）の目的と概略

気管食道領域の手術の中でも最も侵襲が高く、致命的な術後合併症の発生率が高い術式として知られている上縦隔気管切開孔造設術 (AMT) の本邦における現状を後方視的多施設調査により明らかにする

### ➤ 研究（調査）の方法

倫理委員会での承認後に国内の気管食道学会参加施設を中心に2000年以降におこなわれたAMT手術に関する後ろ向き調査を行う

### ➤ 研究（調査）の参加施設

## 国内の気管食道学会参加施設

### ➤ 調査期間

倫理審査承認（2020年度中に終了予定）から2年間

### ➤ 調査の対象となる患者さんへ

2000年以降に上縦隔気管切開孔造設術を受けられた方が対象になります。カルテに記載された情報から、データを匿名化した状態で集めて解析します。個人情報が入部外に漏れることはなく新たな負担はありません。

### ➤ この調査への協力は任意です。

この調査に、ご自身の医療情報が使われることを望まない方はご連絡をください

### ➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。  
研究責任者：益田 宗幸（九州がんセンター 頭頸科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F  
E-mail : [jbes@kishoku.jp](mailto:jbes@kishoku.jp)